

「Go！Go！エシカル」わくわく徳島プロジェクト 高校における「エシカルクラブ」推進事業

教育委員会 学校教育課

事業内容

公立高校に「エシカル消費」を研究・実践する組織「エシカルクラブ」を設置し、様々な取組等を通して、「エシカル消費」の普及・啓発を図るとともに、持続可能な社会の実現に向けて、主体的に行動することができる消費者力の育成を目指す。

実施年度	平成29年度～継続中
予算	8,000千円
消費者行政強化 交付金活用額	4,000千円
対象	公立高校
参加人数	公立高校40校（定時制及び分校も含む）
宣伝方法	年度始めに各校へ実施要領を送付

事業の特徴・ポイント

- ・県内の全ての公立高校に、「エシカルクラブ」を設置している点。
- ・平成29年度は12校、平成30年度は27校、令和元年度は40校と設置校を増やしてきた。

期待される効果

- ・「エシカル消費」の普及・啓発。
- ・高校生に消費者市民としての意識を醸成する。
- ・「エシカル消費」を研究することを通して、批判的思考力や適切な意思決定力を育成できる。
- ・多様な主体と学校現場との連携強化。



実践報告集



取組をまとめたパネル展

現場との連携、工夫した点

- ・エシカル消費に関する講義や実習、フィールドワーク等の研修会を開催し、各校の活動を支援している。また、各校が事業費を利用して、自校でエシカル消費に関する研修会を開催する等して、エシカル消費に関する知識、理解を深めている。
- ・クラブの形態や活動内容については、学校の実情に応じて、生徒会や農業クラブ、家庭クラブ等既存の活動に合わせて行うなど、学校の裁量で活動できる形にした。
- ・他校の取組を参考にしてもらえるように、毎年実践報告集を作成し、配布している。

学校での実践例（徳島県立名西高等学校）

名西高校のエシカル消費啓発キャラクターである「うさカルちゃん」を考案し、平成30年度は普及啓発グッズとしてうさカルちゃんのクリアファイル、令和元年度は付箋を作成した。クリアファイルの裏面には、文化祭で校内表彰されたエシカル消費の標語等を掲載している。文房具でグッズを作成した理由は、普段目に入る機会が多く、エシカル消費を意識してもらえる機会も多いと考えたからである。令和2年度もボールペンを作成し、石井町のエシカル座談会や全校生徒に配布して啓発を行う。他にも、牛乳パックをアップサイクルして椅子を製作し、保育園に届ける活動も行っている。



啓発グッズ